

JPタワー大阪



外観

「JPタワー大阪」は、旧大阪中央郵便局跡地を含む大阪駅西地区の再開発により誕生した、オフィス、商業、劇場、ホテルからなる大型複合施設。JR大阪駅に直結。地域の発展、にぎわいの創出、価値向上に貢献する。



8Fオフィスサポート ラウンジ 倶楽部 梅三 入口

オフィスサポートや、来客の応接や打合せの場として利用できる、上質なテナント専用のラウンジを開設。イベントや貸切利用に対応する華やかなスペースも備え、さまざまなビジネスシーンを支えている。



8Fオフィスサポート ラウンジ 倶楽部 梅三 内観

ラウンジは、昔の大阪の社交クラブをイメージしたレトロで重厚な雰囲気。商談やミーティングにも活用できるほか、仕事の合間の休憩や、夕方以降はお酒も提供されるなど、ワーカーの交流にも利用できる。



8Fオフィスサポート ラウンジ 倶楽部 梅三 女性トイレ

艶やかな大理石を使用した高級感のあるラウンジのトイレは、優雅で洗練された雰囲気を演出している。男女トイレそれぞれに、個室完結型タイプのトイレを1ヶ所設置している。



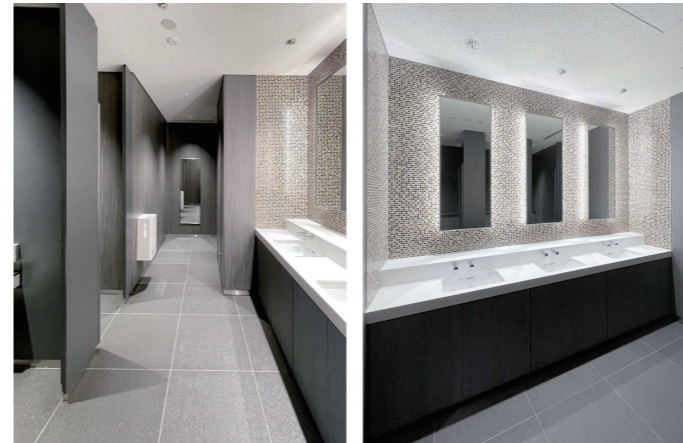
8F トイレ入口

グレーの木目のテクスチャーが、シンプルで洗練されたイメージを感じさせる内装。入口壁面にカラーを統一したピクトサインを掲示している。



8F 男性トイレ 小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器。使用後の毎回洗浄に加えて、定期的な排水管洗浄を実施し、尿の滞留～尿石の発生を抑制するインターバル洗浄機能を搭載している。



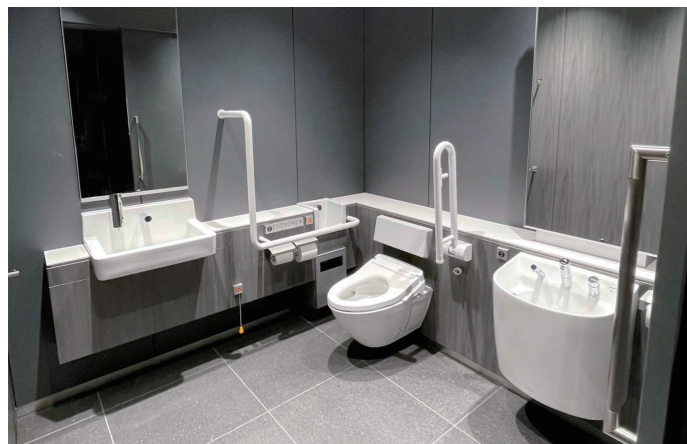
8F 女性トイレ 全体・洗面コーナー

洗面コーナーには、2段のカウンターでドライエリアを設け、手荷物に配慮したツインデッキカウンターを採用。視覚的なアクセントとして、洗面まわりの壁面にモザイクタイルを使用し、空間意匠全体を引き立てている。



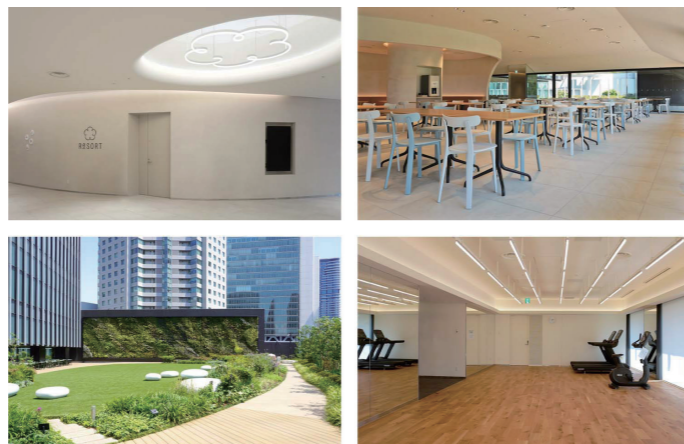
8F 女性トイレ 大便器ブース

大便器は、床の清掃性が高く、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。荷物配慮として、広めのスペースをとったライニング、小物置きとして利用できる棚付二連紙巻器を採用している。



8F バリアフリートイレ

バリアフリートイレは、使いやすさと空間として考えられた統一感を実現したフラットカウンター・バリアフリートイレパックを設置。ほかのトイレと空間意匠を統一させている。



9Fオフィスサポート 内観・屋上庭園

テナント専用の新時代のオフィスサポートとして、9Fには、ワーカーのウェルビーイングなどに貢献するためダイニング&カフェ、コンビニエンスストア、屋上庭園、フィットネス、サウナなど充実した設備を備えている。



9Fオフィスサポート トイレ入口

9Fオフィスサポート内に設置された専用トイレ。丸みを帯びたかわいいたピクトサインが特徴で、視認性が高く、明るく親しみやすい雰囲気を醸し出している。



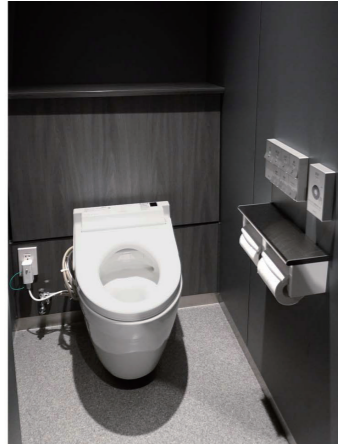
9Fオフィスサポート 男性トイレ 小便器コーナー

すっきりとした清澄な空間。小便器のライニングの奥行きをやや広めに確保し、手荷物を置いて使用しやすいよう配慮している。

JPタワー大阪



9Fオフィスサポート
女性トイレ



大便器の洗浄リモコンは、手をかざすだけで洗浄できるセンサースイッチを採用。ウォシュレットは、「きれい除菌水」でノズルを洗浄するウォシュレットPSを設置している。



9Fオフィスサポート
女性用サウナ

仕事の前後などに心身をリフレッシュできるよう、サウナを設置。フィットネスとサウナは予約制。サウナスペースに、シャワーブースが併設されており、隣接するフィットネス利用者も使用可能となっている。



9Fオフィスサポート
女性用サウナ

サウナエリアには、少人数で利用できるサウナと、サウナでの発汗後に心身をリフレッシュさせるためのアイスルームが設置されている。



9Fオフィスサポート
女性用サウナ
シャワーブース

シャワーブースは2ヶ所設けられており、内1ヶ所は広めのスペースを確保している。



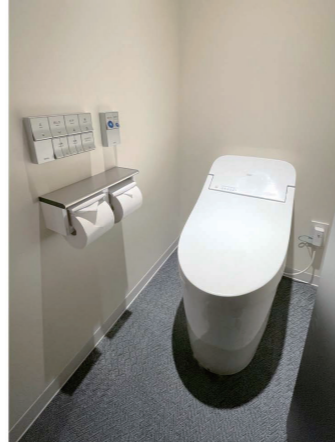
9Fオフィスサポート
女性用サウナ
シャワーブース



広めのシャワーブース内には、さまざまな身体状況の方の利用を想定し、壁面に手すりを設置している。



9Fオフィスサポート
女性用サウナ 脱衣室



フィットネスとサウナに繋がる脱衣室には、トイレを1ヶ所設置。ローシルエットデザインで空間がすっきり仕上がる、パブリック向けウォシュレット一体形便器とエコリモコンを採用している。



9Fオフィスサポート
男性用サウナ 脱衣室

フィットネスとサウナは予約制となっており、利用者が使用する脱衣室には、ロッカーと洗面コーナー、トイレがシンプルな動線で配置されている。



9Fオフィスサポート
男性用サウナ 脱衣室

洗面コーナーには、非接触で使用できる自動水栓と、自動水石けん供給栓を採用している。ドライヤーなどサウナ後の身繕いにもしっかり配慮されている。



オフィスフロア基準階
男性トイレ
洗面コーナー



基準階のトイレは、システムトイレのライニングユニットを採用。洗面コーナーとは別に、口腔ケアをするワーカーに配慮し、上向き吐水で口がすすげ、さらにボウル洗浄機能付きの歯みがきユニットを設置している。



オフィスフロア基準階
男性トイレ
小便器コーナー

小便器コーナーの両端には、さまざまな身体状況の方が立位のバランスを保持しやすいよう、小便器用手すりを設置している。



オフィスフロア基準階
女性トイレ
洗面コーナー

女性トイレにも、洗面コーナーとは別に、歯みがきコーナーを設置。洗面コーナーと歯みがきコーナーを分けることで、昼食後など、集中利用時の混雑緩和を図っている。



オフィスフロア基準階
女性トイレ
洗面コーナー

手洗いから乾燥まで一連の動作をタッチレスで行えるよう、水栓は自動水栓と自動水石けん供給栓を採用。近くにクリンドライ（ハンドドライヤー）も設置されている。

JPタワー大阪



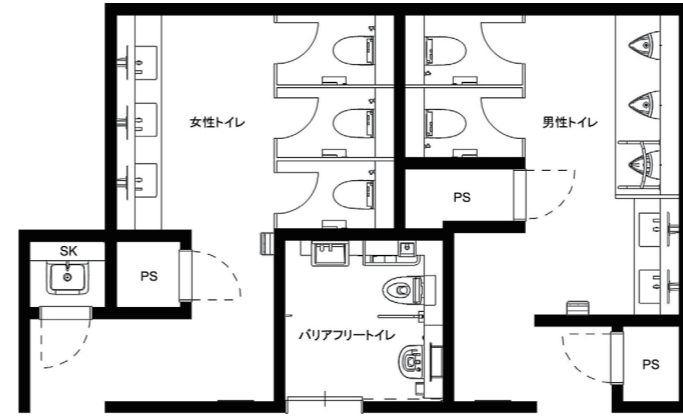
オフィスフロア基準階
女性トイレ
大便器コーナー

二方向から出入りが可能な基準階のトイレ。大便器ブースの扉は空室時常時半開きとなっており、両方向から空き状況がわかる仕様。ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。



オフィスフロア基準階
女性トイレ
大便器ブース

大便器には、わかりやすい操作ボタンが特徴のウォシュレットPを設置。さらに、一部のブースに手すりを設置し立ち座りに配慮している。



8Fトイレ図面



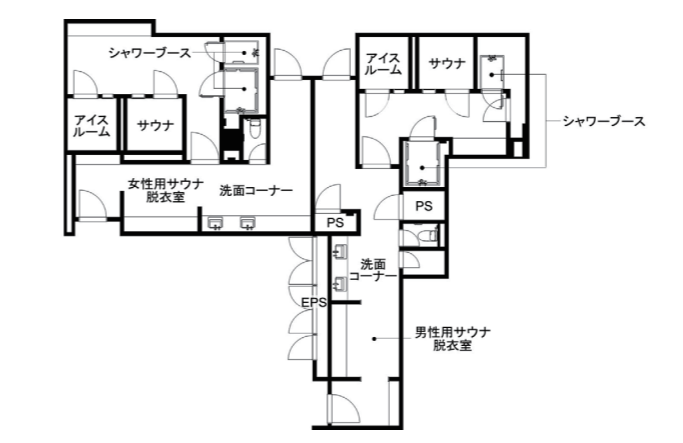
オフィスフロア基準階
女性トイレ
パウダーコーナー

女性トイレの両出入口付近にパウダーコーナーを設置。多人数の同時利用を想定し、横長鏡を採用。化粧直しなどの身繕いに配慮している。

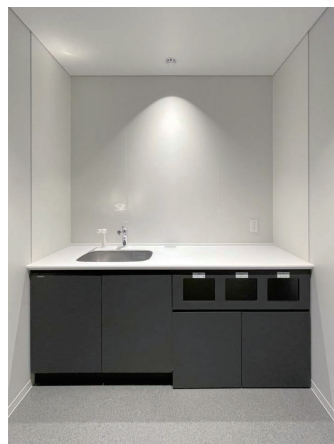


オフィスフロア基準階
バリアフリートイレ

バリアフリートイレは、執務エリアからの動線や混雑緩和を考慮し、快適に利用できるよう1フロアに2ヶ所設置。さらに、利用者の身体状況にあわせて選択できるよう、左右勝手を変えている。

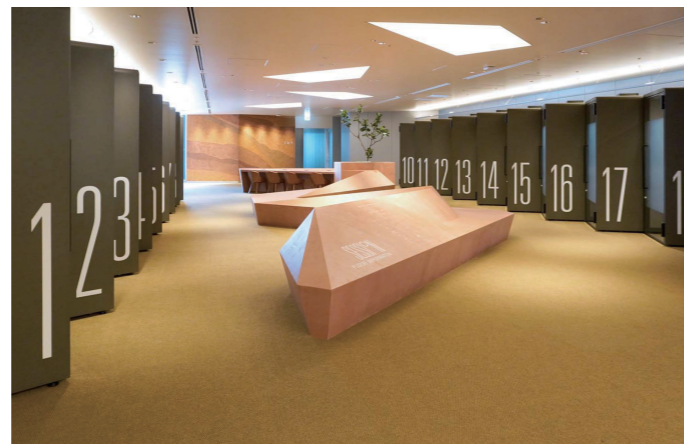
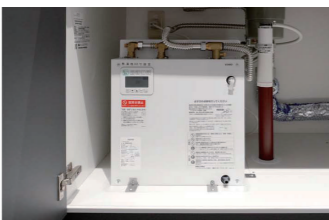


9Fオフィスサポート
トイレ・サウナ図面



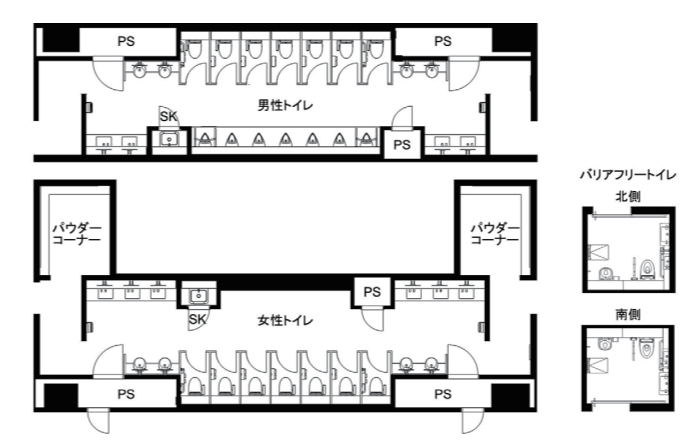
オフィスフロア基準階
給湯室

各フロアに給湯室を設置。流しには、飲料用と洗い物用に2つの出湯口があり、大容量を貯湯できる据え置きタイプの小型電気温水器を採用している。



17F 共用会議室

17Fに設けられたテナント専用の共用貸会議室。web会議や集中作業ができる1名用の個室ブースからセミナーや研修にも使用できる最大32名まで利用可能な多様なサイズの会議室を用意している。



オフィスフロア基準階
トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

2024(令和6)年3月に竣工した「JPタワー大阪」は、旧大阪中央郵便局跡地を含む大阪駅西地区の再開発プロジェクトにより誕生した、オフィス、商業、劇場、ホテルからなる大型複合施設。西日本最大のターミナルであるJR大阪駅直結のアクセスを誇る。11~27Fに位置するオフィスは、西日本最大級のワンフロア約1200坪。新時代のオフィスビルとして、ワーカークリエイティビティへの配慮やウェルビーイングに貢献するため、8F・9F・17Fに専用のオフィスサポート機能を用意。ラウンジ、ダイニング、屋上庭園、フィットネス、サウナ、貸会議室など充実の機能を備えている。また、大規模地震対策として各階に制振装置を設置。JSCAが示す基準耐震グレード「上級」性能を保有、さまざまなBCP対策を施している。

水まわりの特長

オフィス基準階のトイレはフロアの中央に配置し、2ヶ所に出入口が設けられた二方向出入りとなっている。大便器や小便器、洗面器、菌みがき器は、システムトイレのライニングユニットを採用し、メンテナンス性に配慮。また、女性トイレには、身繕いのスペースとしてパウダーコーナーを設置している。各階のバリアフリートイレは、左右勝手を変えて2ヶ所設置、利用者の身体状況にあわせて選択できるように配慮している。8Fラウンジや、9Fオフィスサポートには、専用のトイレを設置。そのほか、フィットネスやサウナ、シャワーブースが完備されており、新しい時代のワークスタイルを創造するための、心身ともにリラックス・リフレッシュできる施設や空間が用意されている。

建築概要

名称	JPタワー大阪
所在地	大阪府大阪市北区梅田3-2-2
事業者	日本郵便株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、JR西日本ステーションシティ株式会社、株式会社JT
PJM(プロジェクトマネジメント)	日本郵政不動産株式会社
設計・監理	株式会社日建設計
施工	梅田3丁目計画(仮称)建設工事共同企業体 (代表者 株式会社竹中工務店、その他構成員 株式会社銭高組)
竣工年月	2024年3月
敷地面積	約12,920㎡
延床面積	約227,000㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造・地下3階、地上39階、塔屋2階

おもなTOTO使用機器

大便器ユニット:UTNCAB
壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CRN、UAXC3CLN
パブリック向けウォシュレット一体形便器:CES9251
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AE、TCF5534AEY
ウォシュレットP:TCF587
棚付二連紙巻器:YH702
小便器ユニット:UTNUBN
自動洗浄小便器:UFS900R
洗面器ユニット:UTNLCC
洗面器:L505
菌みがきユニット:UTNHAN
台付自動水栓:TLE26SS1W、TLE25SS1W
電気温水器:REKB25A22系
自動水石けん供給栓:TLK07S01JA、TLK08S01JA
クリンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
フラットカウンター・バリアフリートイレバック:XPDA1RS*211BWW系、XPDA1LS*211BWW系
フィッティングボード:YKA41R
パブリック用手すり:T112CL9、T112CU22